

都農町地域資源マップ 15班

(甲斐啓太、谷口凜汰郎、迫田さくら、濱砂結佳子)

①道の駅

道の駅都農では野菜や魚介類や果物などの都農町の特産物が売られていた。そのほかにもトマトひねり揚げや宮崎大学生とのコラボ商品であるシャイマスケットキャンディー、都農ワインなどの特産品を活かした商品も販売していた。このトマトひねり揚げは年間5万食も売れるほど人気だそう。また道の駅の敷地内にフードコートがあったりソフトクリーム屋さんがあったりした。このソフトクリーム屋さんではトマトソフトクリームが売っていてトッピングでトマトひねり揚げをつけるのが人気だそう。そして近くには都農神社までの橋である開運橋があり、道の駅に立ち寄ってそのまま都農神社を訪れることができるように工夫されている。(甲斐)



②八坂神社

京都・祇園に本社を置く八坂神社の分社が祀られていた。(写真1) すぐ隣には神道宇宙神霊宮という建造物があった。(写真2)

写真1

写真2

近くに不思議な実をつけた大きな木があり、大量の実が落ちていた。つるや雑草が伸びており、管理が行き届いていないように感じた。(迫田)



③川

都農神社へ向かう道中で大きな川を発見した。川の水は驚くほど澄んでおり、川底の石がはっきりと見えた。このような清流は、都農町の豊かで美しい自然環境をよく表しており、強く印象に残った。初夏の日差しが照り続ける中、この澄んだ川を見ているだけで清々しい気持ちになった。(迫田)



④豆の樹だんご

豆の樹は平成1年に開業したお店でおいしいお団子を都農町の人だけではなく県内各地のお客さんに販売している。種類としてはわらびもちかしわもちやよもぎもちなどがありどれも85円で販売している。また高鍋町にももう一店舗あるそうでそちらは弟さんが経営しているそうだ。(甲斐)



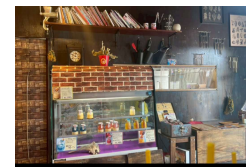
⑤都農神社



都農神社は明治四年に県内最初の国幣社と列せられ、地域の方々から「一の宮」と愛称されながら歴史の要として人々と深く関わってきた。御祭神である大己貴命は多くの妃を娶り、その妃等との間に多くの御子をもうけた。そこから縁結びの神とも子孫繁栄の神とも云われる様になった。また医療の法を定め、多くの人々を助けた事により医療の神とも云われた。さらに少彦名命と共に力を合わせて多くの人々と交わり、次々と国造りをした事によって、事業開拓の神と云われる様になった。近年では再建・設備が進み、「恋愛・縁結びのパワースポット」としても人気。また神社での取り組みとして祭りの時に男性だけでなく女性や子供も神輿を担げるようにしたり、町の子供たちが地域の活動により積極的に参加するように神楽奉納や夏祭りなどの催しを毎年開催している。また、今回は神社の掃除を毎日行っている黒木さんと都農神社の宮司の永友さんからお話をいただいた。今回お二人が共通しておっしゃっていたのは人と人とのつながりがいかに大切かということだ。実際に今回宮司の永友さんからお話をいただいたのは黒木さんが永友さんに直接掛け合ってくださったからなので、身に染みてその大切さが理解できた。また、永友さんは今までの慣習を改め、新たな試みを幾度となく行ってきた。例えば、女性が神輿を担ぎ祭りにもっと参加できるようにしたり、スピーカーを使って音楽を流しながらうたを神社の中で踊れるようにしたことである。これらのことを行う上で反対されることの方が多かったが、それでも決してあきらめない強い意志と多くの人の支えがあったからこそ成し遂げることができたとおっしゃっていた。(谷口)

⑥南国プリン都農研究所

都農町に店を構える南国プリン都農研究所は、7年前に宮崎市内で創業したプリン専門店だ。元々は作業場だった場所を改装して利用しており、都農町民からの熱い要望に応える形で、3年前から都農町に本社となる店舗をオープンした。現在では子どもから高齢者まで幅広い年齢層が訪れ、県外からも多くのお客さんが足を運ぶ人気店となっている。お店の、オリジナルキャラクターである「パニャちゃん」が旅をするというコンセプトのもと、さまざまな場所出張販売も積極的に行っている。ここで販売されているのは、定番のプリンはもちろん、フラッペ、焼き菓子、そして珍しい唐揚げだ。特に、一般的なプリン屋さんでは見かけない唐揚げが販売されているのには理由がある。それは、プリン作りにも使用している地元の「松浦牛乳」の存在と美味しさを伝えたかったからだ。フラッペも唐揚げも、この牛乳の美味しさと低脂肪乳の良さを最大限に活かすために開発された、こだわりの商品なのだ。南国プリン都農研究所は、地域に根ざした活動とユニークな商品展開で、都農町の新たな魅力を発信している。(濱砂)



感想

★都農町の歴史や自然に触れることができた。どこを訪れても、都農町の人の優しさや、地域の温かさを感じた。今回は、有形のものの良さや魅力を実感したが、住民の方の話から、無形のものに目を向けることも重要であると考えた。今後のフィールドワークで生かしていきたい。(濱砂)

★今回は普段馴染みのない土地でのフィールドワークだったが、これまで大阪に住んでいた私にとっては、人と人との距離が非常に近く、関わってくださった方も皆さん温かく接してくださったことで、人の温もりを強く感じる事ができた。とても有意義な時間を過ごすことができたと思う。(谷口)

★美しい自然環境に恵まれており、自然と暮らしが調和した住みやすい町だと実感した。また、町の人々はとても親切で温かく、地域を大切に思う気持ちが強く伝わり、今回のフィールドワークを通して都農町のことがますます好きになった。ぜひまた訪れたい。(迫田)

★都農町に実際に足を運んで聞いてみないとわからないことをたくさん知ることができた。また、今まで宮崎に住んでいても気づかなかった魅力も気づくことができた。このフィールドワークを通して実際に現地に足を運ぶことの大切さを感じた一日だった。(甲斐)

住民の方のお話

都農町に越してきて3年経つという男性に話を聞くことができた。男性が住んでいる地区の子ども数も15人程度。しかし11月に男性宅付近で行われるハロウィンイベントでは、他の地区を含めた100人以上の子どものと200人以上の大人が参加し、盛大に盛り上がるようだ。地域の人の協力や公民館での入念な打ち合わせにより実現している。地域と人々の結びつきが強く、このような地域活動がほかにも盛んに行われていると聞いた。男性は、「都農には有形の魅力や課題はたくさんある。フィールドワークでそれらを見て都農町をより良くしようとするならば、ぜひこのような地域で取り組んでいる行事などの無形のものにも目を向けて、都農のまちづくりに生かしてほしい。」とおっしゃっていた。(迫田)